

改訂日 2012年03月29日

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	アルジサイド
会社名	多木化学株式会社
住所	〒675-0124 兵庫県加古川市別府町緑町2番地
担当部門	管理部 担当者 管理部長
電話番号	079-435-6641
FAX番号	079-435-6506
緊急連絡先	化学品営業部 営業管理課
電話番号	079-437-2000
記載内容問合せ先	化学品営業部 各営業所(末尾参照)
電子メールアドレス	yakuhi@takichem.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	殺菌殺藻剤
整理番号	YE-711

2. 危険有害性の要約

<GHS分類>

物理化学的危険性

全ての項目はGHS分類基準に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	: 区分4
急性毒性(吸入；ミスト)	: 区分4
特定標的臓器毒性(単回曝露)	: 区分3(気道刺激性)
その他の項目はGHS分類基準に該当しない	

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)	: 区分1
その他の項目はGHS分類基準に該当しない	

<GHSラベル要素>

絵表示

:



注意喚起語

危険有害性情報

: 警告

: 飲み込むと有害	(H302)
吸入すると有害	(H332)
呼吸器への刺激のおそれ	(H335)
水生生物に非常に強い毒性	(H400)

注意書き

【安全対策】

: この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。	(P270)
屋外やまたは換気の良い場所でのみ使用すること。	(P271)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。	(P261)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。	(P280)
取扱い後は手などをよく洗うこと。	(P264)
環境への放出をさけること。	(P273)

漏出物を回収すること。

(P391)

【応急処置】

飲込んだ場合	: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 口をすすぐこと。	(P301+P312) (P330)
吸入した場合 気分が悪い時	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 : 医師に連絡すること。	(P304+P340) (P312)

【保管】

: 施錠して保管すること 換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。	(P405) (P403+P223)
--	-----------------------

【廃棄】

: 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。	(P501)
--	--------

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名	: WSCP ポリマー
化学式又は構造式	: $(C_{10}H_{24}N_2O)_n \cdot 2Cl$
成分及び含有量	: WSCP ポリマー 60% 水 40%
官報公示整理番号	: 化審法 7-1532
CAS 番号	: 登録済み、7732-18-5

4. 応急措置

飲み込んだ場合	: 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
吸入した場合	: 被災者を空気の新鮮な場所に速やかに移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚を流水、シャワーで洗浄すること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断/手当てを受けること。
応急処置をする者の保護	: 救助者は、適切な保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤	
小火災	: 粉末消火剤、二酸化炭素、散水、一般の泡消火剤。
大火災	: 散水、水噴霧、通常の泡消火剤。
使ってはならない消火剤	: 棒状注水。
火災時の特有な危険有害性	: 加熱により容器が爆発するおそれがある。火災によって刺激性、腐食性及び又は毒性のガスを発生する恐れがある。
特有の消火方法	: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際は、適切な保護具（空気呼吸器、耐熱性防護服など）を着用し、風上より消火を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	: 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。関係者以外の立入りを禁止する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外は近づけない。風上に留まる。
----------------------	---

環境に対する注意事項	作業者は適切な保護具（8.ばく露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。十分な換気をする。低地から離れる。
封じ込め及び浄化の方法・機材	: 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。環境中に放出してはならない。 : 危険でなければ漏れを止める。少量の場合、砂あるいは不燃性吸収材を用いて集め、容器に入れて後で廃棄する。 大量の場合、液体の前方にせきを作り、後で廃棄する。
二次災害も防止策	: 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。全ての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 『8.ばく露防止措置及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8.ばく露防止措置及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項	: 火気注意。接触、吸入又は飲込まないこと。排気用の換気を行うこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。環境への放出を避けること。 『10.安定性及び反応性』を参照。
保管	
保管条件	: 保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ、適当なためますを設けること。保管場所の床には、危険物を貯蔵し、又は取扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。酸化剤から離して保管する。容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。施錠して保管すること。
容器包装材料	: 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止措置

管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会(2009年版)	: 未設定
ACGIH(2009年)	: 未設定
設備対策	: 本製品を貯蔵しないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。高熱取扱いで、工程で蒸気、ヒューム、ミストが発生するときは、換気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 換気が不十分な場合には、適当な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	: 適切な手袋を着用すること。
眼の保護具	: 適切な保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用すること。
衛生対策	: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観	
形状	: 液体
色	: 淡黄色透明

臭い	: わずかな臭気
臭いの閾値	: データなし
pH (100%)	: 7
融点/凝固点	: -16
沸点	: 100 以上
引火点	: なし
燃焼性(固体、ガス)	: 該当しない
蒸発速度	: データなし
爆発範囲の下限、上限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重(密度)	: 1.15
溶解度(水)	: 水に易溶
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: データなし
自然発火温度	: データなし
動粘性率	: 125mm ² /s

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱いでは安定
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 情報なし
混触危険物質	: 陰イオン性ポリマー
危険有害分解生成物	: 熱分解により一酸化炭素を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	
(経口)	: 区分4 LD ₅₀ 1,951 mg/kg/ラット *3
(経皮)	: 区分外 LD ₅₀ > 2,000 mg/kg/ウサギ *3
(吸入)	: 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 分類できない データなし
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	: 分類できない データなし
呼吸器感作性	: 分類できない データなし
皮膚感作性	: 分類できない データなし
生殖細胞変異原性	: 分類できない データなし
発がん性	: 分類できない データなし
生殖毒性	: 分類できない データなし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 区分3(気道刺激性) データはないが、呼吸器を刺激するおそれがあるとの報告あり *3
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 分類できない データなし
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	: 区分1
水生環境慢性有害性	: 分類できない データ不十分
オゾン層への有害性	: 分類できない
生態毒性	
魚類	: LC ₅₀ 0.21 mg/l/96hr/ブルーギル *3
残留性/分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

: 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルの低い状態にする。

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。

汚染容器・包装

: 内容物を完全に除去し、水洗い後、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類

: クラス 9 (その他の有害性物質) 容器等級

国連番号

: UN 3082

正式輸送品目名

: Environmentally hazardous substances, liquid, n.o.s

海洋汚染物質

: P

国内規制

陸上輸送

: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送

: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送

: 航空法に定められている運送方法に従う。

特別な安全対策

: 取扱い及び保管上の注意による他、堅牢で容易に変形、破損しない容器に入れて輸送する。水溶液は強酸であるため、アルカリ性物質との混載厳禁。水漏れ厳禁。

15. 適用法令

化学物質管理促進法 (PRTR 法)

: 該当せず

労働安全衛生法

: 通知対象物質、表示対象物質に該当しない

毒物及び劇物取締法

: 毒物・劇物に該当しない

火薬類取締法

: 該当せず

高圧ガス保安法

: 該当せず

消防法

: 該当せず

化審法

: 該当せず

船舶安全法

: その他の有害性物質 UN 3082 (その他の液体環境有害性物質)

航空法

: その他の有害性物質 UN 3082 (その他の液体環境有害性物質)

海洋汚染防止法

: 該当せず

16. その他の情報

引用文献

本 MSDS の作成に当たっては、化学物質等安全データシート (MSDS) 内容及び項目の順序 (JIS Z 7250:2010 日本規格協会 発行) および GHS に基づく化学物質等の分類方法 (JIS Z 7252:2009 日本規格協会 発行) に基づいて作成した。

H コード、P コードは「化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂 3 版 (GHS 関係省庁連絡会議 訳)」付属書 3 を参照

* 1 . 独立行政法人・製品評価技術基盤機構 (NITE)

* 2 . 法規制データ (ezCRIC) 日本ケミカルデータベース(株)

* 3 . 仕入先 MSDS

本製品安全データシート (MSDS) は、現時点で入手できる最新の資料・情報に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたもので、製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、当社は、MSDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

記載内容の問合せ先

多木化学株式会社 化学品営業部 加古川営業所長 兵庫県加古川市別府町緑町2番地	Tel. 079-437-2000 Fax. 079-437-8685
同 仙台営業所長 仙台市青葉区一番町一丁目4番1号	Tel. 022-265-0691 Fax. 022-265-0714
同 東京営業所長 東京都中央区銀座七丁目14番4号	Tel. 03-3543-1905 Fax. 03-3546-2190
同 名古屋営業所長 名古屋市名東区社台3丁目90番地	Tel. 052-773-3361 Fax. 052-773-3362
同 大阪営業所長 大阪市西区江戸堀一丁目2番11号	Tel. 06-6444-3306 Fax. 06-6444-3309
同 福岡営業所長 北九州市若松区安瀬64番地70	Tel. 093-761-0277 Fax. 093-761-0633